



めたばる

巻頭の辞

九州補給処長兼ねて目達原駐屯地司令

陸将補 竹内 綱太郎



射撃訓練を実施する竹内司令

今年も目達原駐屯地の桜は満開となり風が心地良い季節になりました。春の定期異動により101名の隊員が着任し、新しい仲間として目達原駐屯地に加わりました。

この新しい仲間に対して、職務面だけではなく家族も含め新しい生活に少しでも早く慣れ充実した生活と勤務、更には、この風光明媚な佐賀の地を堪能した思いう深い勤務となるように要望しています。

目達原駐屯地は、佐賀県唯一の陸上自衛隊の駐屯地として各種活動を支援する兵站と航空部隊が主に所在し、九州本土から島嶼部を含めた防衛警備事態や災害に備えています。

目達原駐屯地所在部隊は、令和3年度も使命を完遂し国民の信頼に応えるべく不断の努力をもって業務と教育訓練に励むとともに、引き続き地域の方々の御理解と御協力を得るため、地域との連携強化に邁進していく所存です。

4／四半期戦技競う

目達原駐屯地各隊は、令和2年度4／四半期（1月～3月）において、各種競技会を実施することで、隊員・部隊の戦技能力の向上・団結の強化及び士気の高揚を図りました。

持続走軽武装走競技会
九州補給処



持続走軽武装走優勝！
九州補給処電計課



射撃競技会
西部方面ヘリコプター隊



射撃優勝！
西部方面ヘリコプター隊第2飛行隊



武装走競技会
第321基地通信中隊



武装走表彰者
第321基地通信中隊



このQRコードの使い方
①お手持ちのスマートフォン・携帯電話で上記バーコードを読み取ります。
②読み取り結果画面で「目達原駐屯地」をクリック
③目達原駐屯地のホームページを開覧できます。
④過去の「めたばる」を全面カラーでご覧になれます。



スポットライト 臨時リクルーター 地本にて活躍

自衛隊と地域の窓口として

九州補給処補給部の角士長、整備部の洲上1士は、佐賀地方協力本部へ臨時リクルーターとして、それぞれ約1カ月間活躍しました。角士長は「地本が入隊予定者に寄り添ったサポートをしていることに驚きました。入隊前の志願者の方と触れ合うことで、私も初心にかえる事ができました。大変良い経験になりました。」洲上1士は「民間の方に自衛隊を知ってもらうためのポスティング活動など地域に密着した仕事だと感じました。短い時間でしたが、私にとって非常に良い刺激になりました。」と自己の勤務について所見を述べました。

鳥栖市内におけるポスター掲示活動(角士長)



母校にて恩師へ近況報告・部活動参加(洲上1士)



企業説明会にて自衛隊をPR(角士長)



吉野ヶ里町におけるポスター等掲示活動(洲上1士)



※地本臨時リクルーターとは、主に地方協力本部の広報担当官と共に情報発信・セミナーや説明会の開催・部隊見学等の引率・志願者の入隊前のケアサポート・母校訪問活動等を実施し、募集広報業務の支援を行うことです。

九州補給処

各支処・各部練成の成果発揮する
電計課競技会5連覇達成

一斉スタート！！

九州補給処は、令和3年3月5日、目達原駐屯地において持続走（軽武装）競技会を実施しました。隊員達は、日頃の練成の成果を発揮し、駐屯地内3kmのコースを各支処、各部のため全隊員が一丸となり競技会に臨み、全力でその脚力を競いました。また、団体の部において電計課は平成28年からの5連覇を達成しました。

引き続き日々の練成を継続し、使命の完遂をするべく体力向上に努めて参ります。



駐屯地内を激走中



団体の部「優勝」電計課大会5連覇達成



歓声に包まれるゴール前

西部方面後方支援隊

被災者に寄り添い
心と体を癒す

農林水産大臣より感謝状授与

西部方面後方支援隊は、令和2年7月九州豪雨における災害派遣活動に際して、高い即応性を発揮して現地に赴くとともに、被災者に対する入浴・物資輸送等間断のない支援活動を実施し、復興への一助となりました。その真情あふれる支援活動に対し、令和2年12月16日農林水産大臣（野上 浩太郎氏）より感謝状を授与されました。



目指せ陸曹への道

陸曹候補生履修前教育

西部方面後方支援隊は、令和3年2月22日から3月5日までの間、陸曹候補生課程履修前教育を実施しました。西部方面後方支援隊のほか九州補給処の陸曹候補生も参加し、合計11名（男性隊員8名、女性隊員3名）での教育となりました。2月26日には本教育最大の山場である戦闘訓練が、雨上がりの泥濘地における過酷な環境下で実施され班長からの叱咤激励に応えながら必死に戦った。分隊長を核心として全員が一致団結し、目標奪取を目指しました。また当日は最上級曹長が視察に訪れ、ひたむきに訓練に励む候補生たちを激励しました。最後まで一人も欠けることなく教育を修了しました。参加者はこの履修前教育で得た事を約3カ月間に渡る第5陸曹教育隊及び女性自衛官教育隊での「陸曹候補生課程」にて十分に発揮し、陸曹への道を一歩ずつ歩んでいきます。



命令下達



戦闘訓練（駐屯地グランド）

同期の絆胸に・・・

新隊員後期教育修了式



学生代表挨拶（第106全般支援大隊第2整備工場 目達原）

第106全般支援大隊は、令和2年12月18日から令和3年3月1日までの間、令和2年度新隊員特設課程及び第16期一般陸曹候補生課程（装輪車整備）教育を担当・実施しました。本教育は、車両整備手として必要な知識・技能を付与するとともに、整備手として必要な資質を育成することを目的として実施されており、新隊員13名は、コロナ禍における各種制約事項を克服しつつ、整備教育・実習、野外訓練、各種検定等に熱心に取り組む、全員が2ヶ月間にわたる教育を無事修了し、本教育間に築き上げた同期の絆を胸に、それぞれの部隊に巣立っていきま

即応予備自衛官ら
民間の経験を活用令和2年度
第3回大隊訓練

第103弾薬大隊は、令和3年2月22日から2月24日までの間、日出生台演習場において、令和2年度第3回大隊訓練を実施しました。この訓練では、弾薬中隊の任務である弾薬類の補給、整備、回収等一連の行動について練成しました。

昨年10月に予備自衛官から即応予備自衛官に採用された隊員は、訓練終了後、「演習場での訓練は数十年ぶりで心配だったが、日頃の運送業務で培った経験が訓練に反映できたので、率先して任務に邁進することができ、大変有意義な訓練となった。」と感想を述べた。



部隊へ弾薬交付（日出生台）



行動命令下達（日出生台）

第1 戦闘ヘリコプター隊

創隊から31年の歴史に幕

伝統を継承しつつ前へ

第3対戦車ヘリコプター隊は、3月18日AH-1Sコブラ編隊飛行、空機となる第1戦闘ヘリコプター隊へ改編されました。改編前日には、AH-1Sコブラのラストフライトを行い、これまでのコブラの活躍に感謝と慰労の意を示しました。これからの伝統を継承しつつ新たな創造を重ね任務に邁進してまいります。



ラストフライトAH-1Sコブラ編隊飛行



部隊改編記念撮影

西部方面ヘリコプター隊

各隊の威信かけ集中

団体の部優勝は第2飛行隊

西部方面ヘリコプター隊は、令和3年1月23日、北熊本射場において、令和2年度ヘリコプター隊戦技競技会（射撃）を実施しました。本競技会の開催にあたり、各隊から選抜された選手要員は、日々、射撃練習に励み万全なコンディションで本競技会に臨みました。各隊1個チームで計四個チームにより第7習会、第8習会及び第9習会を実施し、合計点で順位を付けました。

当日は雨天の中ではありませんでしたが、モチベーションを維持しつつ、各人の気合いと一致団結したチームワークでの勝負の結果、団体の部は第2飛行隊、個人の部は第3飛行隊の興梠3曹が、それぞれ優勝しました。本競技会の開催により、個人の射撃練習度の向上及び部隊の団結の強化を図ることができました。自衛官の基本となる射撃技術をもっと向上すべく、ヘリコプター隊一人ひとりが研究心と向上心を持って引き続き射撃練習に励みたいと思います。



必中の精神で臨む射手



優勝の歓喜に沸く第2飛行隊

第4 飛行隊

即応能力向上

関係部外機関と連携強化



ヘリ着陸訓練（大分大学医学部付属病院）



ヘリ誘導（別府駐屯地）

第4飛行隊は、令和3年3月3日から4日までの間、第5次飛行隊訓練を実施しました。本訓練では、大分県正面南海トラフ地震の想定下で、別府駐屯地へ推進し、前方指揮所を開設、大分大学医学部付属病院ヘリポートへの航法・離着陸訓練及び大分県内の主要道路での車両機動訓練を実施し、関係部外機関との連携強化及び災害対処計画に基づく地誌資料を収集することが出来ました。

第3 2 1 基地通信中隊

限界へ挑戦

駐屯地を駆け抜ける

第321基地通信中隊は、令和3年1月28日及び2月4日の2日間、わたり令和2年度中隊武装走競技会を実施しました。

競技参加部隊は、目達原駐屯地所在の中隊本部及び各隊、各駐・分屯地に派遣されている派遣隊が参加し、団体戦、個人戦（幹部の部）（陸曹の部）（陸士の部）（女性自衛官の部）のそれぞれで行われ、各隊員は自分の限界への挑戦、部隊の名誉のため、これまでの練成の成果を遺憾なく発揮し、団結及び士気がよくなり高まり、白熱した競技会となりました。



号砲とともにスタートする選手

西部方面システム通信群本部中隊
映像写真小隊 空中伝送班

あらゆる災害へ対応

新体制へ準備ヨシ

西部方面システム通信群本部中隊映像写真小隊空中伝送班は、令和3年1月から3月までの間、5回の緊急出動任務を遂行しました。この時期は特に空気が乾

燥しているため、山林等で火災が頻繁に発生します。火災以外、我々は今後もあらゆる災害に対応し迅速に対応していきます。また、定期異動に伴い2名の転入者を迎え入れ新体制の下、引き続き即応態勢を堅持し、映像伝送能力の向上に努めていきます。



山林火災対処出発前のブリーフィング



山林火災を撮影中

西部方面管制気象隊第1派遣隊

現実的な戦いを想定 確かな技術を追求

西部方面管制気象隊第1派遣隊は令和3年2月から3月にかけて格闘訓練を実施しました。新型コロナウイルス感染症対策のためマスクの着用



間隔を空け感染症を考慮した訓練を実施



小銃携行時の姿勢変換訓練

及び検温・マット消毒を実施し、直接的な接触を避けつつ基本的な格闘訓練に併せて近接戦闘において必要とされる小銃を携行した状態からの各種打撃及び銃の操作要領、姿勢変換等を訓練し格闘練習度の向上に努めました。



陸曹候補生に対して教育

勉強に励むことです。」



訓練計画を作成中

駐屯地は、4月1日付で防衛及び駐屯地モニターを委嘱しました。駐屯地モニターの5名の方々は、2年度に引き続き2期目のモニターとして応諾して頂き、再委嘱をしました。3年度も駐屯地に対する貴重なご意見をよろしくお願い致します。



一ノ瀬 安信 様



秋田 貴美子 様



原 晋介 様

駐屯地に対する理解の深化を図る

駐屯地は、3月6日、西部方面へリコプター隊の支援の下、駐屯地協力者等に対し、航空機体験搭乗を実施しました。今回の体験搭乗は、コロナ対策として、招待者の半減・航空機内の配席の減数・航空機や施設内の消毒除菌・様々な工夫をして実行しました。体験搭乗を通して、自衛隊及び駐屯地の活動等に対するご理解を頂くことが出来ました。



田中 正昭 様



名倉 真帆 様



吉村 充 様



堀江 明央 様



航空機の説明



記念撮影

吉野ヶ里町は令和3年4月6日から15日までの間、令和3年吉野ヶ里町交通

ちの活動が少しでも地域の役に立てればうれしいです。」と述べました。

安全運動」を実施しました。この活動は交通安全啓発を行うとともに、交通ルール及び交通マナーアップを呼びかけ事故防止を図る目的で実施されました。

この活動には吉野ヶ里町が主催し、目達原自衛隊、神埼警察署及び安全協会関係者から約60名が参加しました。

活動に参加した、九州補給処総務部井上士長は「新しい年度を迎え新たに学校や職場に通学、通勤される方がたくさんいる。自分た



安全運転を呼びかける隊員

MY Boom



林 祥太
(第1戦闘ヘリコプター隊)

私の趣味を紹介します
温かくなってきたこの
時期あたりからフライ
フィッシングという疑似
餌を使った溪流釣りを楽
しんでいます。
木々の木漏れ日、溪流
のせせらぎの中で心身と
もにリフレッシュ！最高
のひとときです！



大分県上津江村の川原川

九州補給処鳥栖燃料支処長
兼ねて鳥栖分屯地司令
2等陸佐 朝倉 智顕
出身 埼玉 県
職種 需品 科
座右の銘 無知の知



第321基地通信中隊長
3等陸佐 大草 満治
出身 佐賀県
職種 通信科
座右の銘 ひとのときを想う



24	18	14	3	3	6	28	10	4
日	日	日	日	日	月	日	日	月
九	九	九	戦	戦		西	九	
			闘	闘		後		
処	処	処	へ	へ		支	処	
丸	山	田	中	後		岡	井	
尾	口	中	村	藤		本	手	
1	1	2	1	1		1	曹	
曹	曹	尉	尉	尉		曹	長	